

和田あき子議員の、6月県議会での補正予算案に対する質疑の内容をお知らせします。議会初日に早期議決すべき補正予算案が提出され、質疑、委員会審議を経て採択されました。全文はホームページの[議会の様子](#)からご覧いただけます。



* 地域支えあいプラスワン消費促進事業について *

和田 消費が落ち込んだ事業者を応援し地域内の消費喚起を目的とする事業だが、すでに市町村が計画しているものに使える財政支援か。縛りをかけず、市町村の創意工夫が生かせるのか。

企画振興部長 この事業の趣旨に沿うものは広く補助対象とする。市町村の創意工夫をいかし、対象業種、店舗、商品券等の形態には縛りをかけない。

和田 50億円の予算のうちの事務的経費は。

企画振興部長 予算はすべて市町村への補助金で、市町村の事務的経費は補助の対象。

ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業について

和田 コロナ禍による子育て負担の増加は、ひとり親世帯のすべてに当てはまる。速やかな給付のためにも給付対象を線引きせず、すべての世帯を対象にすべきだ。

知事 今回の事業は所得制限があるとはいえ、家計急変世帯も対象としたことで経済的に大きな影響を受けているひとり親世帯への支援の役割を果たせると考えている。

自立相談支援事業について

和田 コロナ危機による失業や長期休業により収入が激減する事態が起こる中で、生活保護の相談件数、生活福祉資金の利用状況の推移はどうか。

健康福祉部長 生活保護の相談件数は3月が395件、4月550件、5月350件で、生活福祉資金の緊急小口資金と総合支援資金の貸付は、6月15日までで5168件、11億5153万円の貸付実績である。

和田 市が行う生活困窮者相談体制への支援と、県が行う生活困窮者支援のさらなる強化について、どのように取り組んでいくか。

健康福祉部長 生活就労支援センター「まいさぽ」の相談件数が増加しており、体制強化のために県設置の「まいさぽ」9か所に各1名分の人件費等を計上している。

☆質問を終えて☆

6月補正予算案は95%がコロナ対応という提案です。

深刻なコロナ危機の影響に、しっかり対策することと、できるだけ早い支援を求めて6月議会がんばります。

